

研究に関するお知らせ

研究の名称：肺癌細胞診断におけるポリコームタンパク質 EZH2 の免疫組織学的検出の意義の検討

国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院中央検査部臨床病理室では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■研究の対象となる方

当センター病院において、2012年1月1日から2013年12月31日までに肺生検、肺手術、胸水細胞検査のいずれかを受けられた方。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に検査で使用した検体の残り、診療録に記録された年齢・性別・経過等の診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。また患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■研究の概要

ポリコーム蛋白質 EZH2 は肺癌の癌細胞に発現しており、その発現を調べることで肺癌の病理診断、細胞診断の精度向上に有用である可能性があります。そこで中央検査部臨床病理室では、上記に当てはまる患者さんが過去に受けられた検査で得られた検体のうち、余剰分を使わせて頂き免疫染色で EZH2 の検出を行い、肺癌の病理診断・細胞診断における有用性を検討したいと考えています

本研究の結果は原則として研究対象となる患者さんの診療には直接は用いられませんが、本研究の結果が将来の肺癌患者さんの検査の迅速化、効率化に寄与することを目指しています。

ご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や資料をごらん頂くことや文書でお渡しができます。また本研究で収集させて頂いた情報を当院の規定に則った形でご覧頂くこともできます。ご希望される方は、記載のお問い合わせ先にお申し出ください。

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
中央検査部臨床病理室 医師 飯塚利彦 内線 5302